

平成26年、市内の救急車出件数は2万5千578件、搬送者数は2万1千894人で、1日平均では約70件の出場がありました。なお、救急車で搬送されたかたの約半数が入院を必要としない軽症者で、本当に救急車を必要としている重症者への対応が遅れてしまふ恐れがあります。



1日平均70件出場



救急車

必要なのはどんなとき？

救急車の出件件数が年々増加し、本当に救急車を必要としているかたが利用できる状況にあります。救急車や救急医療は限りある資源です。いざというときの皆さん自身の安心のために、救急車の適正利用を考えてみませんか。

救急相談窓口

- 救急医療情報県民案内(24時間)
☎048-824-4199(歯科・精神科除く)
- 大人の救急電話相談
☎#7000 または ☎048-824-4199
毎日18:30～22:30
- 小児救急電話相談
☎#8000 または ☎048-833-7911
月～土曜日19:00～翌7:00
日曜・祝日・年末年始9:00～翌7:00



病気やけがのときは

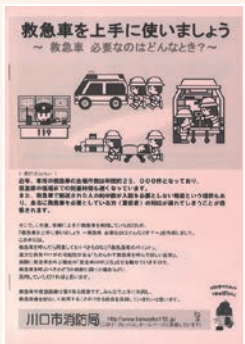
救急車を呼ぶべきか、自分で病院を受診すべきか迷ったときは、救急相談窓口をご利用ください。ただし、下図のような症状がある場合、重大な病気やけがの可能性があるので、ためらわずに救急車を呼んでください。

こんな症状があったらすぐに救急車を呼んでください

部位	小児 (15歳未満)	大人
頭	●頭を痛がって、けいれんがある ●頭を強くぶつけて出血が止まらない意識がない・けいれんがある	●突然の激しい頭痛 ●突然の高熱
顔	●唇が紫色で呼吸が弱い	●顔半分が動きにくい・しびれる ●ろれつが回りにくいうまく話せない ●物が突然二重に見える ●顔色が悪い
胸	●激しいせきをして呼吸が苦しく、顔色が悪い	●突然の激痛 ●急な息切れ・呼吸困難 ●胸の中央が締め付けられる(圧迫される)ような痛みが続く
腹	●激しい腹痛で苦しい、嘔吐が止まらない ●便に血が混じる	●突然の激しい腹痛 ●吐血や下血がある
手足	●手足が硬直している	●突然のしびれ ●突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

問い合わせ…救急課 ☎048-261-8974 FAX 048-261-5955

市内公共施設で「救急車を上手に使いましょう」リーフレットを配布しています。消防局ホームページにも掲載しています。



家族で楽しみながら安全を学ぶ

3/1

8:00～12:00

SKIPシティ

消防防災フェア

- 消防車・救急車・県防災航空隊ヘリコプターの展示
- 高度救助隊による訓練デモンストレーション
- はしご車搭乗、起震車による地震体験
- 心肺蘇生法・AED体験コーナー
- 消防団PRコーナー
- 炊き出し訓練



※8:00～9:00は消防訓練のみ実施します。

※天候や災害により内容を変更する場合があります。

問い合わせ…警防課 ☎048-261-8971 FAX 048-261-5955